



大阪医学統計学セミナー 第80回

Osaka Biostatistics Seminar

2月9日 (金)

16:30~18:30



OSAKA UNIVERSITY

場所：
医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室
オンライン併用開催

参加ご希望の方は、前日までに下記
問い合わせ先にメールにてお申込み
ください。

「がん免疫療法の効果遅発を考慮した アダプティブデザインの提案」

講演者：野村 尚吾

(東京大学大学院 医学系研究科 生物統計情報学講座)

要旨：

がん免疫療法の検証的試験では、延命効果の発現時期が遅れる現象（効果遅発）が起こる。ログランク検定は効果遅発下で検出力不足に陥るため、 $G^{P,Y}$ 検定といった代替検定法に注目が集まっている。しかし、効果遅発の“型”（ハザード比の変化点や変化点前後のハザード比）を誤特定すると代替検定法は検出力不足（または過多）となる。本発表では、中途データに基づき検定手法・サンプルサイズを見直すアダプティブデザインについて紹介する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座

E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301